



## 人とまちの未来を見据え、 野生動物の被害対策を。

「野生動物には興味なかったのですが、地域づくりやソーシャルデザインの仕事には憧れがあったと思います」と話す、「かさなりデザイン合同会社」CEOの鈴木さん。25歳の頃、縁あってインテリア業界から野生動物業界に

転身。以後、約11年にわたって宮城・山形・福島・岩手などでイノシシを中心とした野生動物の農作物や人への被害対策・指導を行う一方、東日本大震災以降は福島県避難地域での対策にも携わってきたといいます。2014年に利府町に転居。「tsumiki」などで活動する人たちから刺激を受けたこともあって、地域に根差した活動を

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

# 十符人

「とふと」



かさなりデザイン合同会社 CEO

鈴木 淳さん

1984年生まれ・仙台市出身

2010年、東北各地で野生動物の生態調査・研究、農作物や人的被害等の対策指導を行う会社に転職。環境省鳥獣保護管理捕獲コーディネーター、農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー、色麻町鳥獣被害対策アドバイザーとして活躍する一方、各地の集落で地域コーディネートにも携わる。2014年、利府町に転居し、2021年5月に「かさなりデザイン合同会社」を設立。利府町まち・ひと・しごと創造ステーション「tsumiki(つみき)」などでも活動中。



野生動物から農作物等を守る装置を確認する鈴木さん



センサーカメラ画像(利府町内で撮影したイノシシの群れ)

野生動物による農作物被害でお困りの方は、  
利府町役場農林水産課までお問い合わせ  
ください。

☎ 農林水産課 ☎767-2191

していこうと、今年5月に「かさなりデザイン合同会社」を設立。社名には、ひとと地域と動物の未来を重ね、デザインすることで、地域の課題を解決し、ひとやまちの活性化につなごうという思いを込めたと話します。現在は沢乙伝統の源流米の被害対策支援、イノシシによる被害対策のアドバイザーなどを行う傍ら、「リフ超インタナシッ」での学生指導、「利府梨のスパイスカレー」の販売支援など幅広く活動。「利府は都市化が進む一方で自然も豊か。イノシシやハクビシン、熊もいます。柵の設置や駆除も重要ですが、住民側の理解も大切です」と鈴木さん。人とまちの未来を考えると、鳥獣対策はじめ課題解決、産業の活性化にも役立ちたいと話します。

利府町公式インスタグラム



井りふあるき



まっちゃん (@matchan\_0903) さん  
加瀬沼公園で紅葉狩りを楽しむ秋田犬の「まっちゃん」の写真を投稿していただきました。可愛い表情の「まっちゃん」をたくさん投稿されていますのでぜひ、見てみてくださいね。

葛 (@tuta.yukinakajima) さん  
しらかし台にある沢乙北公園の秋を切り取っていただきました。落ち葉で覆われた時計台までの道が素敵ですね。

